

野瀬建築便い

青の神秘

南イタリア、ティレニア海に浮かぶカプリ島。レモンと降り注ぐ太陽の光にあふれた小さな島は、南イタリア最大の都市、ナポリから40km離れたところにあります。

カプリ島の北側、海に面した断崖絶壁にある「青の洞窟」。青く輝く神秘的な光に包まれていることで有名で、毎年多くの観光客が訪れます。長年の波による浸食作用で崖の岩が削られ、ぽっかり空いた穴の奥に洞窟があります。入口の小さな穴からは想像もできない程、奥が深く、奥行き54mもの空間が広がっています。

入口は体がかがめないと入れないほど小さいので、波の穏やかな日にしか行けません。洞窟の前で、モーターボートから数人ずつ手漕ぎボートに乗り換えて、穴の中へ進みます。洞窟に入るとそこは別世界。一面、青い海面に包まれて、ま

るで吸い込まれるような神秘的な光景が広がっています。洞窟の入口から差し込む光が、海底の白い石灰岩に屈折して反射するため、海面が青く輝くのです。広い洞窟の中でゆらゆら揺れるボートが木の葉のように浮いて、宝石のように青く輝く海面を静かに進みます。まるで映画の世界に迷い込んだような、不思議な感覚です。

この洞窟からは、ポセイドンやトリトンの彫像が発見されており、古代ローマ時代に皇帝が水泳用のプールや入浴に使用していたと考えられています。2000年以上前からある洞窟。古(いにしえ)のロマンを感じずにはいられません。

白い建物にブーゲンビリアの花がよく似合い、レモンの香りあふれるカプリ島。レモンチェッコを少し舐めて、青の世界の余韻に浸る午後。日本にも涼しい風が吹いてきましたよ。

